

県 営 土 地 改 良 事 業 仙 女 ヶ 池 地 区

事 業 計 画 書

(農業用排水施設)

埼玉県

目

第1章	目 的	1
第2章	地域及び地積	1
第1節	地 域	1
第2節	地 積	1
第3章	現 況	2
第1節	気 象	2
1	一般気象	2
2	特殊気象	3
3	海 象	3
第2節	土地状況	4
1	地形、土壌及び侵食の程度	4
2	土地分類	5
3	土地利用の状況	5
4	土地所有の状況	5
第3節	水利状況	6
1	用水状況	6
第4節	道路概況	10
1	道路概況	10
第5節	地域農業の概況	11
1	産業別就業人口	11
2	経営耕地規模別経営体数等	12
	並びに専兼業別農家数	12
3	動力農機具及び主要家畜頭数	13
4	主要作物作付状況	14
5	農業の動向	15
第6節	地域環境の概況	16
1	環境に関する地区の状況	16
2	環境に関する基本的な考え方	16
3	自然環境及び社会環境	16
第4章	一般計画	18
第1節	事業計画の要旨	18
1	要 旨	18
2	事業別面積	18
第2節	営農計画及び土地利用計画	19
第3節	用水計画	19
1	計画基準年	19
2	計画かんがい方式	19
3	計画用水系統	19

次

4	計画用水量	20
5	水源計画	21
第4節	排水計画	22
第5節	洪水調節計画	22
第6節	老朽ため池改修計画	23
第5章	主要工事計画	25
第1節	用水施設	25
第2節	排水施設	25
第3節	道路及び索道	25
第4節	農用地造成	25
第5節	洪水調節施設	25
第6節	干拓施設	25
第7節	農用地整備施設	25
第8節	老朽ため池改修施設	26
1	貯水池	26
2	堤体補強施設	26
第6章	附帯工事計画	27
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	27
第8章	環境との調和への配慮	28
第1節	環境配慮する地域の状況	28
1	広域的な環境特性	28
2	地域の状況	28
第2節	環境配慮目標及び基本的な考え方	28
第3節	環境配慮の整備内容	28
第9章	換地計画の概要	28
第10章	事業費の総額及び内訳	30
第11章	効 用	31
第12章	関連する事業	31
第13章	現況・計画図面	31

第1章 目 的

本地区のため池は、日高市の南中部、丘陵地帯の縁に位置する。
本ため池の築造年は不明であり、1974年(昭和49年)に改修されたとの記述がある。その後は大きな改修も被災も報告はなく地区内の重要な水源となっている防災重点農業用ため池である。
ため池は、「仙女ヶ池」と称され、築造後80年以上が経過していると想定される。近年調査を行った結果、緊急放流能力不足、豪雨耐性能力不足、劣化状況評価にて堤体と洪水吐の変状が改修要因として確認されたことから、事業を実施することにより農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全確保を図り、もって災害に強い農村づくりを推進する必要がある。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	埼玉県日高市女影地内

第2節 地 積

(令和6年5月現在)(第2表)

市町村名 \ 現況地目	田(ha)	畑(ha)	原野(ha)	山林(ha)	その他(ha)	合 計(ha)	備 考
日高市	17.4	—	—	—	—	17.4	農地台帳
計	17.4	—	—	—	—	17.4	

第3章 現 況

第1節 気 象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	秩父気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	昭和元年～令和5年	4月～10月	11月～3月		
平均気温 (℃)		20.0℃	6.0℃	14.2℃	
降水量	平均 (mm)	1,081.1 mm	210.4 mm	1,291.5 mm	
降水日数	平均 (日)	86.8 日	26.3 日	113.0 日	
根 雪 期 間		—	～	—	
無 霜 期 間		—	～	—	
最 多 風 向		NW	最大風速 (風向)	22.8 m/s (WNW)	最多風向発生時期 (通年) 最大風速発生年月日 (昭和41年9月25日)

昭和元年～令和5年
最多風向きは平成21年から令和5年

2 特殊気象

過去98年間（昭和元年～令和5年）データによる。

（第3表－2）

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
秩父気象観測所																
観測期間 昭和元年～令和5年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量 (mm/day)	520	S22. 9. 15	1/114	511	R元. 10. 12	1/108	422	S3. 7. 31	1/47	394	H11. 8. 14	1/36	350	S16. 7. 22	1/23	
最大時間雨量 (mm/hr)	78	S22. 9. 15	1/39	77	H27. 7. 28	1/35	76	H1. 9. 2	1/33	76	H28. 8. 22	1/32	72	S34. 9. 26	1/24	
最大4時間雨量 (mm/4hr)	182	S22. 9. 15	1/48	171	H28. 8. 22	1/35	155	H10. 9. 16	1/22	150	S29. 9. 18	1/19	145	S34. 9. 26	1/16	
最大3日連続雨量 (mm)	660	S3. 7. 30 ～8. 1	1/128	611	S22. 9. 13 ～9. 15	1/87	546	R元. 10. 10 ～10. 12	1/51	465	H11. 8. 12 ～8. 14	1/25	419	S16. 7. 20 ～7. 22	1/17	
最大連続旱天日数 (日)	77	S37. 1. 1 ～S37. 3. 19	1/52	77	S47. 10. 6 ～ S47. 12. 22	1/52	74	S35. 1. 16 ～S35. 3. 30	1/40	70	H29. 1. 9 ～H29. 3. 20	1/28	69	S38. 1. 1 ～S38. 3. 11	1/25	

3 海 象

該当なし

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

地 目	田						畑・その他							受益地標高 (m)		備 考	
傾斜区分	1/1000 以下	1/1000 ～1/100	1/100～ 1/20	1/20～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～8°	8° ～15°			15° ～20°	20° 以上	計	最 高		最 低
									8° ～10°	10° ～15°	8° ～15°						
面積 (ha)	－	17.4	－	－	－	17.4	－	－	－	－	－	－	－	－	75.0 m	60.0 m	
比率 (%)	100	100	－	－	－	100	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

(第4表-1-2)

項目 土壌統（区）名	土 壌 統 （ 区 ） 区 分 一 覧 表										面積（ha）	備 考
	土 壌 断 面							堆積様式	母 材			
	色	腐 植	礫 層	酸 化 沈殿物	土 性					泥炭層 グライ層		
					表土	下層土						
					一層	二層	三層					
宮沢統	YY 表土 YR 下層土	なし 表土 なし 下層土	なし	なし	HC	L～HC	-	泥炭層なし グライ層なし	水 積	非固結水成岩	17.4	
計											17.4	

2 土地分類

該当なし

3 土地利用の状況

(第4表-2)

土地利用別 市町村別	耕 地						山 林		採 草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	その他 の樹園 地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
日高市	17.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17.4	
計	17.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17.4	

4 土地所有の状況

(令和5年10月現在)(第4表-3)

所 有 別 区 分	個人有 (農地)	個人有 (その他)	市有 (道水路)	国有	県有	計	備 考
面 積 (ha)	17.4	—	—	—	—	17.4	
受益者数 (人)	68	—	—	—	—	68	
筆 数 (筆)	156	—	—	—	—	156	
権 利 関 係	所有権	—	—	—	—	—	
備 考 (関係戸数)	68	—	—	—	—	68	

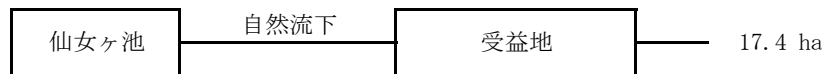
第3節 水利状況

1 用水状況

本地区の用水は、当ため池より自然流下水路により用水を供給している。

(1) 用水系統

用水系統図



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

項 目 施設名	かんがい面積						計		水 利 権		慣行水利権		延べ 取水量	備 考
	500ha 以上		500未満～100ha		100ha 未満									
	個所	ha	個所	ha	個所	ha	個所	ha	個所	m³/s	個所	m³/s	m³/s	
貯 水 池	—	—	—	—	1	17.4	1	17.4	—	—	—	—	—	
井 堰	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
自然取水口	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
揚 水 機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	—	—	—	—	1	17.4	1	17.4	—	—	—	—	—	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

項 目 施設名	施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備 考
貯 水 池	仙女ヶ池	17.4	アースダム 均一型	堤高4.58m 堤長90.0m	昭和49年	地震・豪雨時に堤体の決壊が予想される。	
井 堰	—	—	—	—	—	—	
自然取水口	—	—	—	—	—	—	
揚 水 機	—	—	—	—	—	—	
用 水 路	—	—	—	—	—	—	
そ の 他	—	—	—	—	—	—	
計	1	—	—	堤高4.58m 堤長90.0m	—	—	

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

該当なし

(イ) その他の被害状況

想 定 被 害 面 積 (ha)				想 定 被 害 額 (千円)						備 考
水 田	畑	その他	計	作 物	農 地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
17.4	—	4.6	22.0	6,525	9,938	149,709	—	4,183	170,335	

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

該当なし

2 排水状況

本地区の排水は、地区内の排水路から小畔川へ流入し、荒川へ排水している。

3 河川状況

本ため池周辺には、北に小畔川、南に南小畔川が流下しており、ともに荒川水系である。

第4節 道路概況

1 道路概況

本地区の周辺には日高市道、県道262号線が存在する。

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表－1)

項 目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気 ^カ ス 熱供給 水道業 (人)	運 輸 通信業 (人)	卸 売 小売業 飲食店 (人)	金融 保険業 (人)	不動 産業 (人)	サービ ス業 (人)	公 務 (人)	その他 (人)	備 考
日高市	25,293	600	9	0	5	1,880	5,277	80	2,463	3,491	359	389	9,367	715	658	令和5年埼玉県 統計年鑑
計	25,293	600	9	－	5	1,880	5,277	80	2,463	3,491	359	389	9,367	715	658	
比 率 (%)	100.0	2.4	0.1	－	0.1	7.4	20.9	0.3	9.7	13.8	1.4	1.5	37.0	2.8	2.6	

2 経営耕地規模別経営体数等及び専兼業別農家数

(第7表-2)

区 分 市町村名	総経営 体数 計	経 営 耕 地 規 模 別 経 営 体 数											1 経営体当たり平均農用地面積 (ha)					
		経営耕地 なし・ 0.3ha未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0ha 以上	自給的 農家数 (戸)	田	畑	樹 園 地	小計	草地	計
日高市	304	18	62	117	54	21	16	7	5	3	1	—	0.63	0.95	0.53	2.11	3.17	5.28
計	304	18	62	117	54	21	16	7	5	3	1	—	0.63	0.95	0.53	2.11	3.17	5.28
比 率 (%)	100.0	5.9	20.4	38.5	17.8	6.9	5.3	2.3	1.6	1.0	0.3	—	12.0	18.0	10.0	40.0	60.0	100.0

(2020農林業センサス)

項 目 市町村名	耕地の分散状況		専兼業農家数（戸）				自給的 農家数 （戸）	総農家 数計	備 考
	1 戸 当たり 団地数	団地当 たり面積 （ha）	専 業	兼 業		小計			
				第 1 種	第 2 種				
日高市	－	－	150	27	242	269	451	870	
計	－	－	150	27	242	269	－	870	
比 率（％）	－	－	17.2	3.1	27.8	48.1	－	48.1	

(専兼業農家数は2020年センサスでは集計されて
いないため、左表2015年農林業センサスを使用)

3 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具							
	乗用型トラクター		動力防除機※		動力田植機		コンバイン	
	数 量	経営体数	数 量	経営体数	数 量	経営体数	数 量	経営体数
日高市	354 台	268	129 台	112	100 台	95	51 台	50
計	354	268	129	112	100	95	51	50
100経営体当 数量(台)※※	116		42		33		17	
利用経営体数の 割合(%)※※	88		42		31		16	

(2020年農林業センサスより、
動力農機具は集計されていない
ため、2015年農林業センサス
を使用)
※同様の理由から、2005年農林業
センサスを使用
※※経営体数は2020年農林業セン
サスを適用

項 目 市町村名	主 要 家 畜								備 考
	乳 用 牛		肉 用 牛		豚		鶏		
	数 量	経営体数	数 量	経営体数	数 量	経営体数	数 量	経営体数	
日高市	342頭	3経営体	25頭	3経営体	x頭	2経営体	x頭	x経営体	センサス表示が被調査客体の個人情報保護の観点から記載されていないのでx表示とした。
計	342	3	25	3	x	2	x	x	
1 0 0経営体当数量(頭)※※	113		8		x		x		
利用経営体数の割合(%)※※	1. 0		1. 0		0. 7		x		

(2020年農林業センサス)

4 主要作物作付状況

(第7表－4)

市 町 村 名		日高市				計	平均単位収 量 (kg/10a)	作 付 率 (%)	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)		63				63			
区 分		作付面積 (ha)	単位面積当たり 収量(kg/10a)			作付面積 (ha)			
作 物 名									
田	水稲	22	431			22	431	34.9	
	小 計	22				22		34.9	
畑									
	小 計	－				－		－	
樹園地									
	小 計	－				－		－	
合 計		22				22		34.9	
市町村別延作付率 (%)		34.9				34.9			

(令和5年作物統計調査)

5 農業の動向

(第7表－5)

項目 区分	※農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			※動 力 農 機 具			地域指定等	備 考
		B	A (現在)		B	A (現在)	作物名	B	A (現在)	家畜名	B	A (現在)	農機具名	B	A (現在)		
変化の 状 況 (Cを100と した指数)	総農家数	89	72	耕 地	83	64	水 稻	74	70	乳用牛	83	75	耕耘機 トラクター	91	－	農業振興 地域	
	専業農家数	101	－	田	78	69	麦 類	－	－	肉用牛	－	－	動力田植機	77	－		
	第 1 種 兼業農家数	66	－	畑	84	64	野菜類	74	54	豚	－	－	自脱コンバイン	100	－		
	第 2 種 兼業農家数	73	－	樹園地	91	74	花き・花木類	85	92	鶏	－	－	防除機	－	－		
	農 業 従事者数	75	54	草 地	62	95	豆 類	100	50								
変化の 理 由	大規模経営化が進み、自給的農家数、兼業農家数、農業従事者数は減少傾向にある。			市街化の進行により、全体的な耕地が減少している。しかし、草地は増加傾向にある。			作付転換等により水稻、野菜類、豆類の作付が減少し、花き・花木類の作付が増加している。			飼育環境の変化等により、乳用牛は減少傾向にある。			総農家数の減少に伴い減少傾向にある。				

(A:2020年, B:2015年, C:2010年 各農業センサス転記)

※2020年農業センサスより専業農家数、動力農機具は集計なし。

第6節 地域環境の概況

1 環境に関する地区の状況

本地区は、埼玉県日高市南部、高麗丘陵の縁に位置している。また、広がりのある豊かな自然が住民から好まれる地域となっている。

2 環境に関する基本的な考え方

本地区に係る日高市は、日高市田園環境整備マスタープラン（平成15年策定）において、環境配慮地域に位置付けられており、これに基づき、現在の周辺地域の自然環境を維持できるように配慮するものとする。

3 自然環境及び社会環境

（ア） 自然環境

項 目	概 要
気 候	太平洋岸式気候であるが、年間降水量1,000mm程度と少ない。全体的に四季を通じて穏やかな気候となっている。
地 形	高麗丘陵に位置し、北側の高麗川右岸には入間台地が広がっている。
地 質	宮沢統に属しており、表層で強粘質の場合が多いが、下層で壤質～強粘質となる箇所がある、土色は褐～黄褐である。
水 環 境	防災重点農業用ため池である仙女ヶ池を水源とする田園地帯である。また、排水は下小畔川に流入している。
動 植 物	動物については、特筆すべきものは確認できない。 植物については、聴き取り調査にて、ため池周辺にモウセンゴケ自生しているとあるが、現地で確認されなかった。
景 観	本地区の田園風景は、緑の豊かさを印象づける景観である。

(イ) 社会環境

項 目	概 要
観光資源	巾着田、五常の滝、高麗川横手溪谷、白銀平・富士山、物見山、
歴史・文化	歴史：女影ヶ原古戦場跡、聖天院応仁鰐口、高麗神社本殿 文化：諏訪神社の獅子舞、野々宮神社の獅子舞

(ウ) その他

項 目	概 要
景観の優れた地域	高麗丘陵、巾着田、田園風景

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要 旨

本ため池は、日高市の南中部、丘陵地帯の縁に位置する。本ため池の築造年は不明であり、1974年(昭和49年)に改修されたとの記述がある。その後は大きな改修も被災も報告はなく地区内の重要な水源となっている防災重点農業用ため池である。

ため池は「仙女ヶ池」と称され、築造後80年以上が経過していると想定される。近年調査を行った結果、緊急放流能力不足、豪雨耐性能力不足、劣化状況評価にて堤体と洪水吐の変状が改修要因として確認されたことから、事業を実施することにより農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全確保を図り、もって災害に強い農村づくりを推進する必要がある。

2 事業別面積

(第8表)

土地利用区分 事業目的	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	樹園地 (畑) (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
ため池改修	17.4	—	—	—	—	17.4	農地台帳
計	17.4	—	—	—	—	17.4	

第2節 営農計画及び土地利用計画

該当なし

第3節 用水計画

1 計画基準年

該当なし

2 計画かんがい方式

(1) かんがい期間

水 田 : 早 期 4月 21日～8月15日 (代掻き期間 4月21日～4月30日)

準早期 5月 11日～9月 5日 (代掻き期間 5月11日～5月20日)

畑 : 該当なし

(2) かんがい方式

水 田 : 自然流下による湛水かんがい

畑 : 該当なし

3 計画用水系統

現況用水系統図と同じ。

4 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表－1)

項目 系統名	種 別	面積 (ha)	水 田 か ん が い			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消 費 水 量 (m ³ /s)	損 失 率 (%)	粗 用 水 量		備 考
			普通期	代掻き期	面 積 (ha)	一日当り 計画平均 かん水深	平 均 間断日数	面 積	一日当り 計画平均 かん水深	平 均 間断日数	面 積	計画平均 単位用水 量	面 積			平 均	最 大	
			計 画 平 均 単 位 用水量 (mm/日)	計 画 代掻き 単 位 用水量 (mm)		(mm/日)	日	(ha)	(mm/日)	(mm)	(ha)	(mm/日)	(ha)			(m ³ /s)	(m ³ /s)	
仙女ヶ池	水田	17.4	—	—	17.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計		17.4	—	—	17.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

5 水源計画

(1) 水利用計画

該当なし

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表－3)

項 目 貯水池名	流 域 面 積 (km ²)		か ん が い 面 積 (ha)	純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利 用 回 数 (回)	最大通水量 (m ³ /s)	備 考
	直 接	間 接						
仙女ヶ池	0.041	0.000	17.4	31.9	31.9	1	0.013	

第4節 排水計画

該当なし

第5節 洪水調節計画

該当なし

第6節 老朽ため池改修計画

1 堤体補強計画

(イ) 法面保護施設	堤体上流側	・・・・・・・・	張ブロック
	堤体下流側	・・・・・・・・	張芝
(ロ) 補強盛土工	堤体上流側	・・・・・・・・	なし
	堤体下流側	・・・・・・・・	堤体整形
(ハ) 基礎処理工	堤体上流側	・・・・・・・・	なし
	堤体下流側	・・・・・・・・	なし

2 取水施設改修計画

斜樋	・・・・・・・・	φ100×3孔	
底樋	・・・・・・・・	底樋φ600（ゲート改修）	※土砂吐き改修に伴う接続分
緊急放流工	・・・・・・・・	φ300×1孔	

3 洪水吐改修計画

洪水吐流入部	・・・・・・・・	劣化箇所の補修
洪水吐放水路～減勢部	・・・・・・・・	能力不足のため改修

(1) 計画基準雨量

(第25表)

計画降雨	観測機関名	秩父特別地域気象観測所	
	観測基準雨量	100.9mm/hr (N=1/200) 有効雨量	洪水到達時間 t=23分
	計画根拠	本地区は、実測時間雨量データが得られるので、このデータを確率処理（岩井法）して算定した。（昭和元年～令和5年）	

(2) 計画洪水量

(第26表)

集水面積	直接	4.10 ha	合計
	間接	- ha	4.10 ha
計画洪水量	計算式 流出率 洪水量 設計洪水量 貯留効果考慮後	$Q_p = 1/3.6 \times r_e \times A$ (200年確率ピーク洪水量) $f_p = 0.71$ $Q_p = 1/3.6 \times 0.71 \times 142.83 \times 0.041 = 1.155$ $\approx 1.16 \text{ m}^3/\text{s}$ $Q_o = 1.2 \times Q_p = 1.30 \text{ m}^3/\text{s}$ $Q = 0.75 \text{ m}^3/\text{s}$	流域面積/貯水面積 = $0.041 \text{ km}^2 / 0.011 \text{ km}^2 = 3.72 \leq 30$ よりため池の貯留効果を考慮できる。

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

該当なし

第2節 排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調節施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

1 貯水池

(第5表-2)

名 称	仙女ヶ池				位 置	日高市女影地内		
堤 体	型 式	流 域 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (千m ³)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備 考
	均一型	0.041	4.58	90.0	-	2.50	31.9	
取水施設	型 式	取水量(m ³ /s)	斜樋口径 (mm)	底樋口径 (mm)	備 考			
	斜樋	0.013	φ 100	φ 600	※緊急放流孔 φ 300mm新設			
洪水吐	型 式	洪水量(m ³ /s)	規 模 (m)	備 考				
	正面越流堰型	0.750	3.19					

2 堤体補強施設

- | | |
|------------|---|
| (1) 法面保護施設 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 堤体上流側 張ブロック ・ 堤体下流側 張芝 |
| (2) 補強盛土工 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 堤体上流側 なし ・ 堤体下流側 堤体整形 |
| (3) 基礎処理工 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 堤体上流側 なし ・ 堤体下流側 なし |

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着	手	令和	7年度
完	了	令和	9年度

第8章 環境との調和への配慮

第1節 環境配慮する地域の状況

本地域は、埼玉県日高市南中部に位置する田畑混在地帯である。

本地区は、日高市田園環境整備マスタープラン（平成15年策定）において、環境配慮地域に位置付けられている。

1 広域的な環境特性

本市は、西部地域が奥武蔵自然公園に指定され、豊かな自然を有している。

特に、巾着田、日和田山は、豊かな自然の象徴として市民から愛されており、一年を通じて多くの行楽客が訪れる憩いの場所となっている。

2 地域の状況

文献調査及び地元聞き取りにより抽出された生物は以下の通りである。

植物：スダジイ、カシ、タブ、ヒサ、カキ、サカキ、シキミ、マンリョウ、ヤブコウジ等

鳥類：カルガモ、キジ、コジュケイ、キジバト、カワセミ、ツバメ、キセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ等

魚介類：コイ、ギンブナ、アユ、ヤマメ、ウグイ、オイカワ、ドジョウ等

昆虫類：ツチバチ、スズメバチ、セセリチョウ、アゲハチョウ、ウスバシロチョウ等

文献出典：日高市田園環境整備マスタープラン

第2節 環境配慮目標及び基本的な考え方

本地区は、日高市田園環境整備マスタープラン（平成15年策定）において、環境配慮地域に位置付けられており、環境に配慮した土地改良施設整備が必要とされている。

地域の防災を図る目的を達成しつつ、ため池周辺の自然環境や景観への影響を軽減することを基本とする。

第3節 環境配慮の整備内容

工事に際しては、工事中の環境への負荷を回避する為に、汚濁水や工事土砂が水路に流入しない対策を徹底する。また、渇水期に工事を行うなどにより工事中の汚濁水の発生を抑えることができる。

工事にあたっては、早朝、夜間の工事は行わない。

工事車両は騒音対策、振動対策、排気ガス対策のされた機種を導入して周囲への配慮を徹底する。

工事中必要に応じて、一時的に動植物を捕獲、移動し生息、生育空間の確保に努める。

第9章 換地計画の概要

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

総額 90,090千円 (地方事務費 4,290千円 含む)

(第19表)

項 目	事 業 量	事 業 費 (千円)		備 考
工 事 費	1 式	75,900		R6年度単価
堤 体 工	1 式	7,600		
洪 水 吐 取 水 工	1 式	25,000		
附 帯 工	1 式	1,500		
仮 設 工	1 式	39,300		
撤 去 工	1 式	2,500		
測 量 設 計 費	1 式	8,000		
計		83,900		
工 事 雑 費	1 式	1,900		
計		85,800		
地 方 事 務 費	1 式	4,290		
合 計		90,090		

第11章 効 用

(第20表)

区 分 \ 項 目	年 総 効 果 (便 益) 額 (千 円)	年 増 加 農 業 所 得 額 (千 円)	備 考
維 持 管 理 費 節 減 効 果	△57	－	
災 害 防 止 効 果	7,121	－	
計	7,064	－	

<参考>

総 費 用 : 86,612 千円
 総便益費（現在価値化）: 143,900 千円
 総費用総便益比 : 1.66

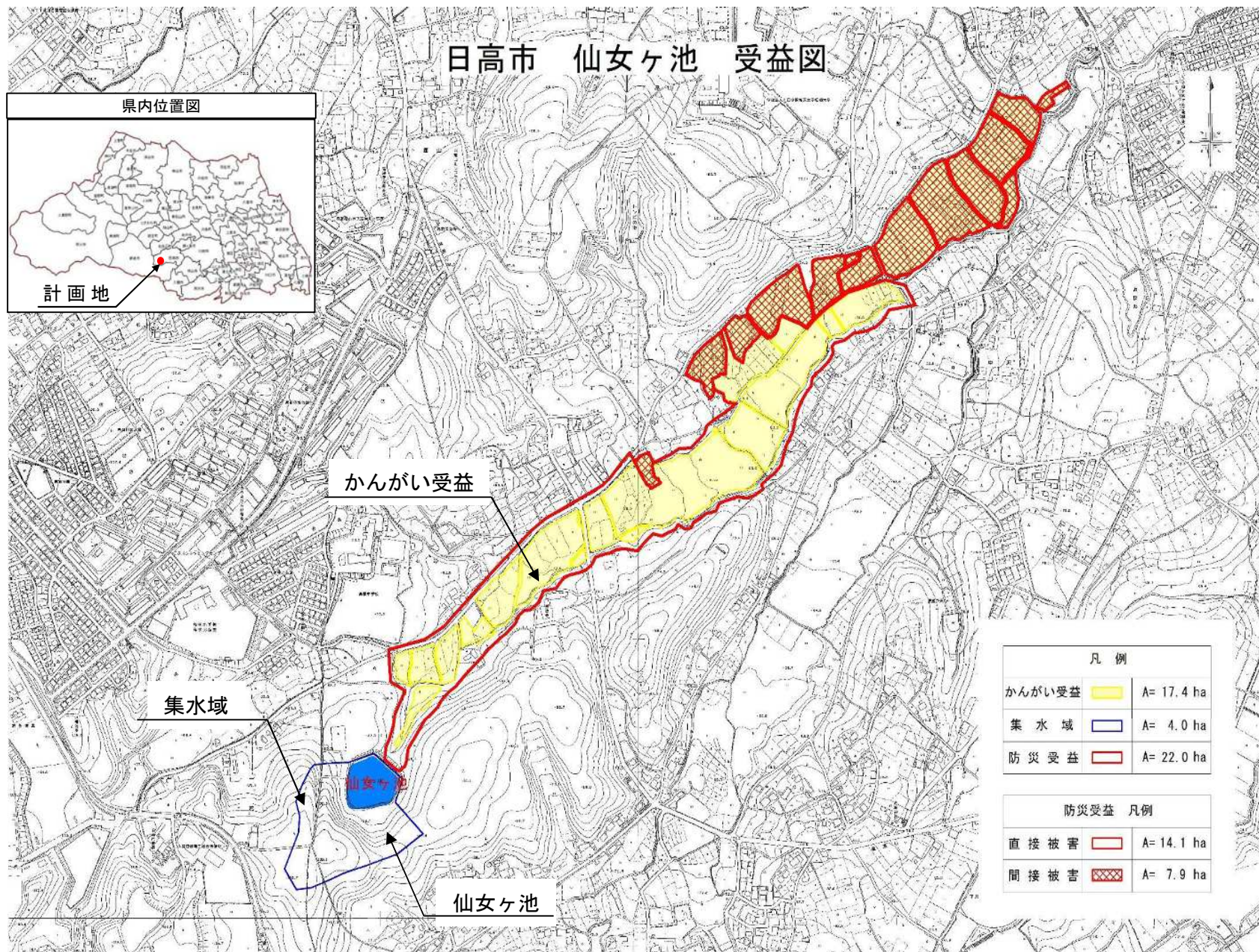
第12章 関 連 す る 事 業

該当なし

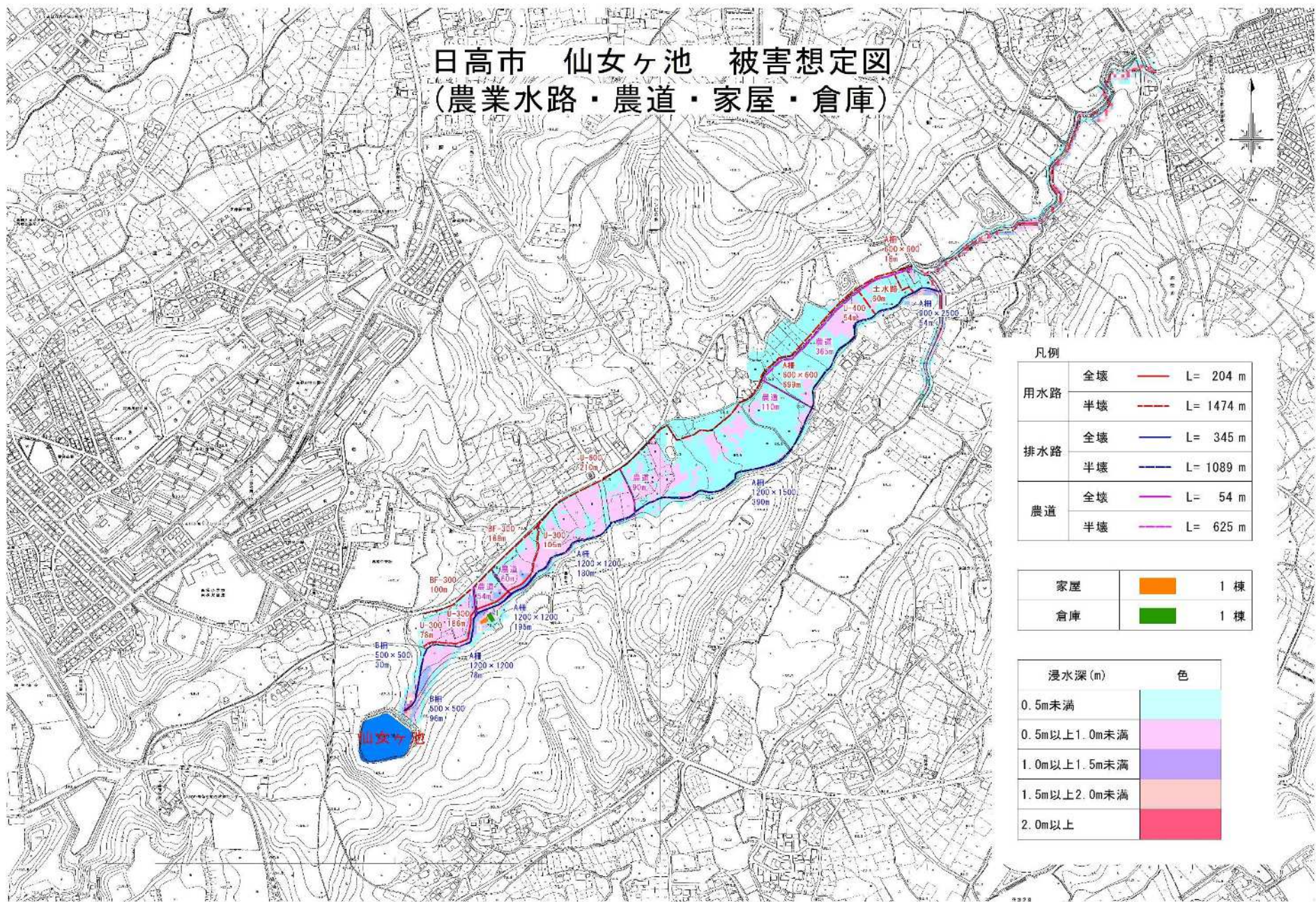
第13章 被害想定図及び現況・計画図面

別添のとおり

日高市 仙女ヶ池 受益図



日高市 仙女ヶ池 被害想定図 (農業水路・農道・家屋・倉庫)



凡例		
用水路	全壊	— L= 204 m
	半壊	— L= 1474 m
排水路	全壊	— L= 345 m
	半壊	— L= 1089 m
農道	全壊	— L= 54 m
	半壊	— L= 625 m

家屋		1 棟
倉庫		1 棟

浸水深 (m)	色
0.5m未満	
0.5m以上1.0m未満	
1.0m以上1.5m未満	
1.5m以上2.0m未満	
2.0m以上	

日高市 仙女ヶ池 被害想定図 (農地・農作物)

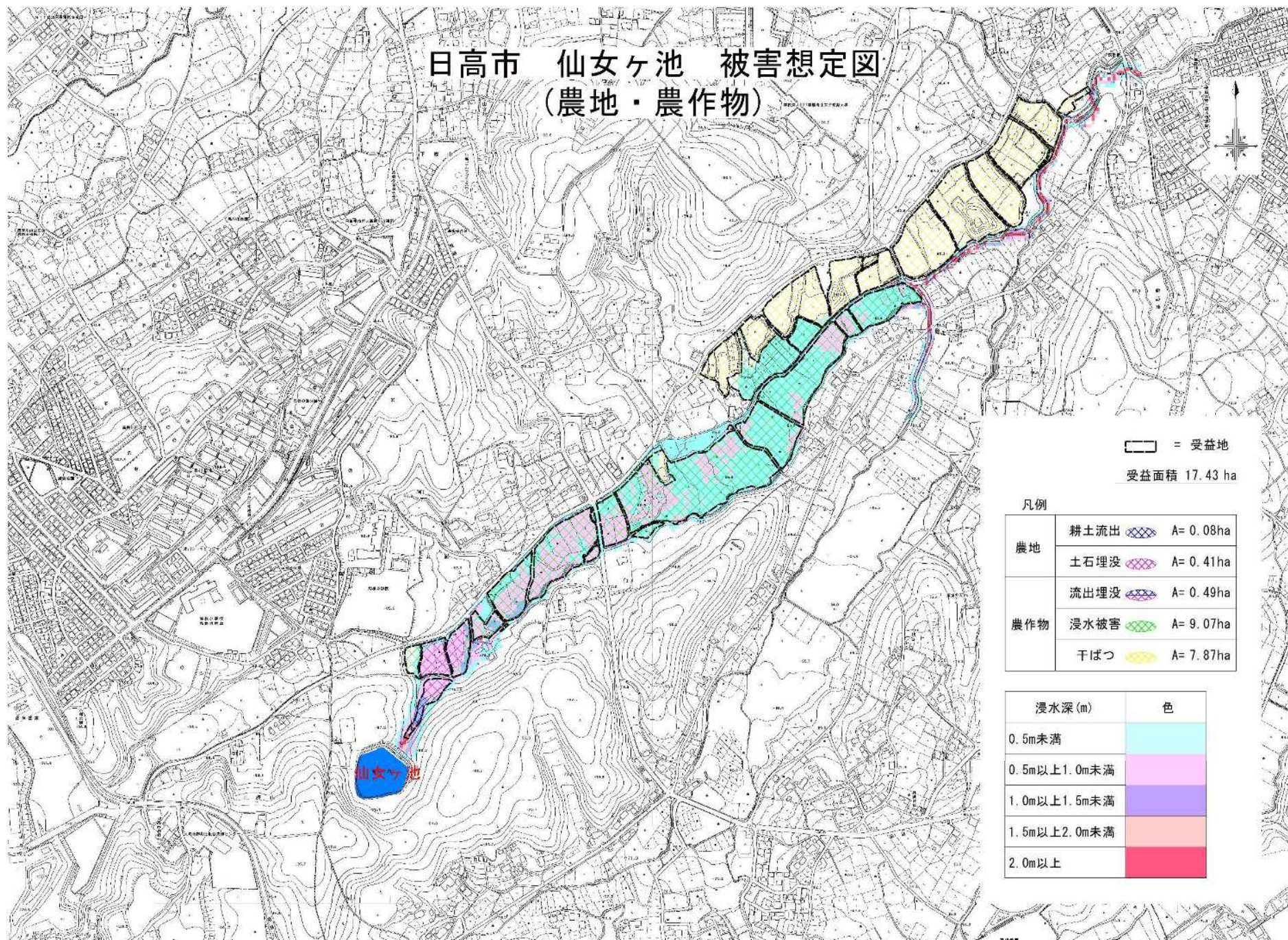


 = 受益地
 受益面積 17.43 ha

凡例

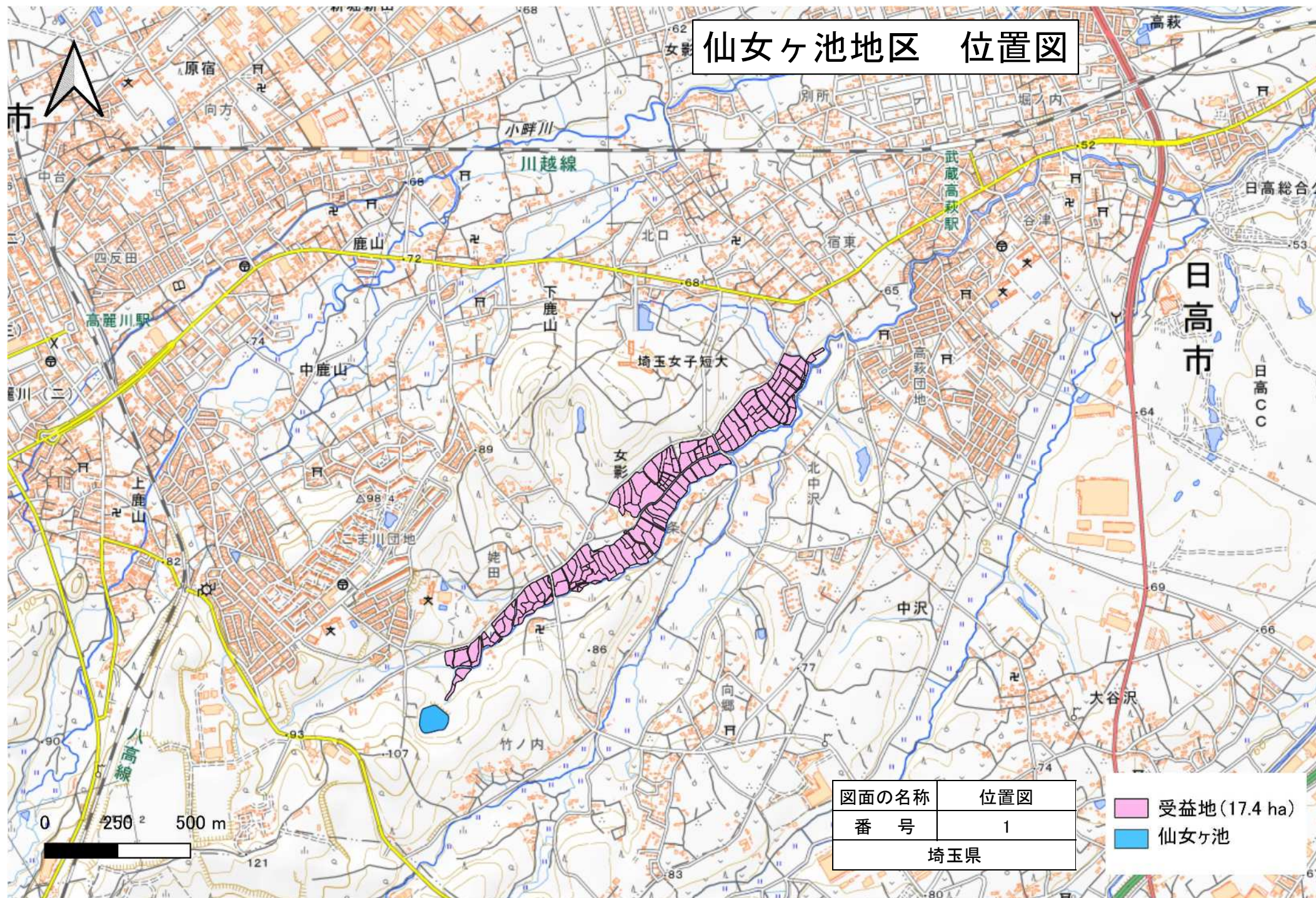
農地	耕土流出		A= 0.08ha
	土石埋没		A= 0.41ha
農作物	流出埋没		A= 0.49ha
	浸水被害		A= 9.07ha
	干ばつ		A= 7.87ha

浸水深 (m)	色
0.5m未満	
0.5m以上1.0m未満	
1.0m以上1.5m未満	
1.5m以上2.0m未満	
2.0m以上	



図面目録

番 号	図面の名称	枚 数
1	位置図	1
2	仙女ヶ池 計画平面図	1
3	仙女ヶ池 標準断面図(堤体)	1
4	仙女ヶ池 取水工・緊急放流工一般図	1
5	仙女ヶ池 洪水吐工一般図	1
6	仙女ヶ池 補修工一般図(洪水吐流入部)	1
合計		6



仙女ヶ池地区 位置図

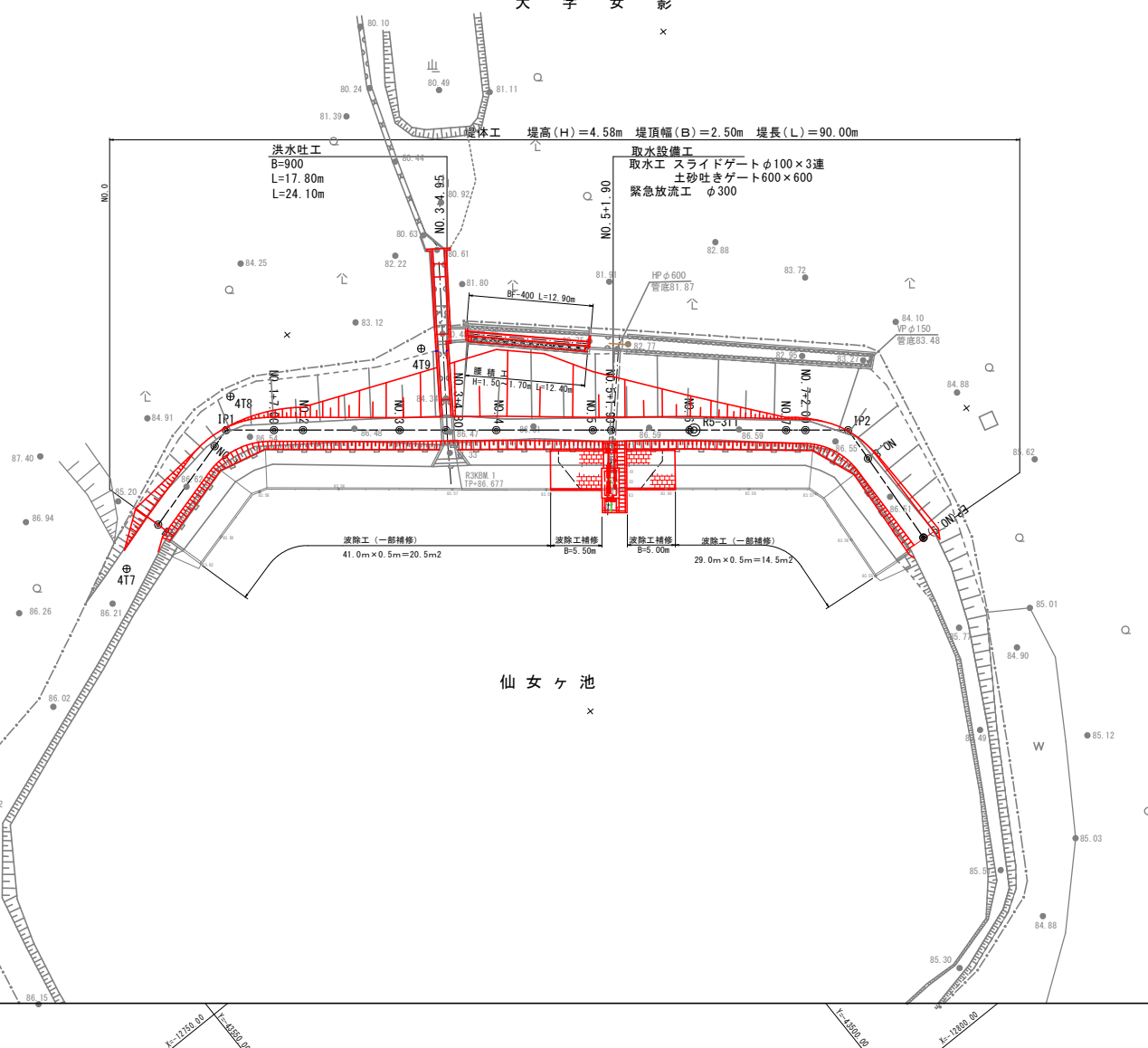
図面の名称	位置図
番 号	1
埼玉県	

- 受益地(17.4 ha)
- 仙女ヶ池

S=1 : 250

日 高 市

影 女 字 大

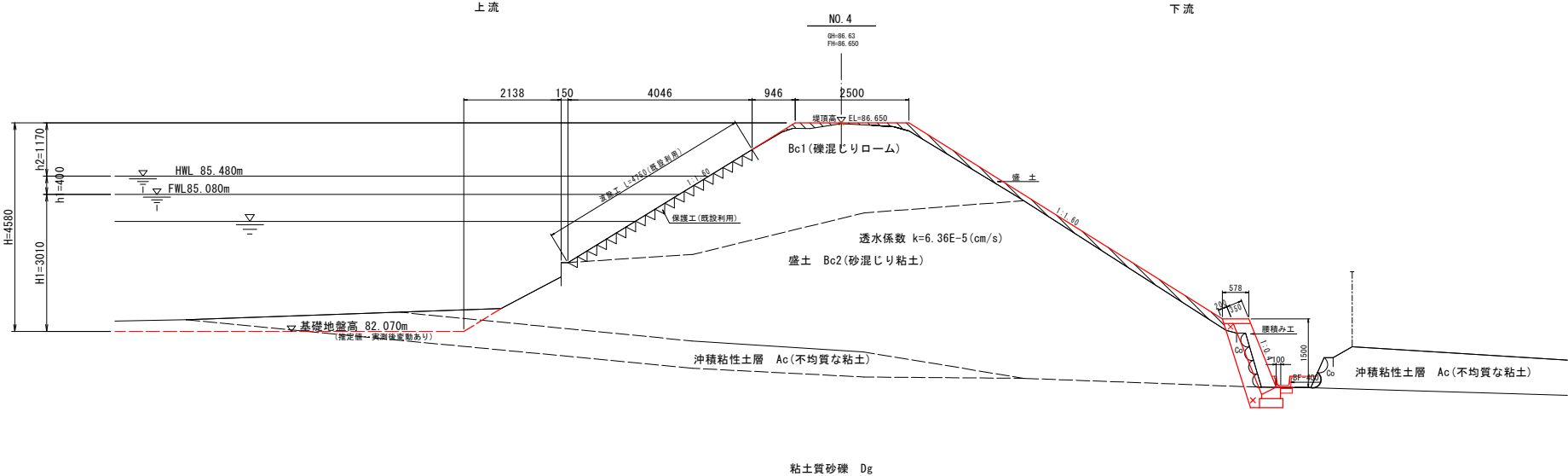


仙 女 ヶ 池

工 事 名			
池 沼 名	仙 女 ヲ 池		
工事箇所	日 高 市 女 影 地 内		
図 面 名	計画平面図		
縮 尺	1/250	図面番号	2
埼玉県			

標準断面図（堤体）

S=1:50



ため池計画諸元

堤 高	H = 4.580m
流域面積	H = 4.10 ha
貯 水 量	V = 31,900 m3
受益面積	A = 17.3 ha
洪水吐工	正面越流型
	B = 3.50m
底 樋	ヒューム管 φ600mm
緊急放流施設	スライドゲート φ300mm

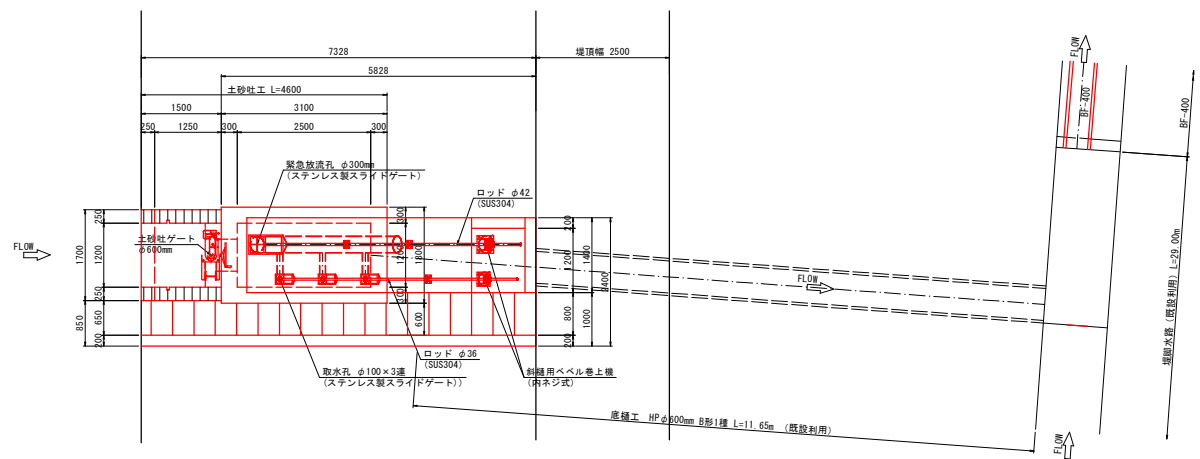
工事名			
池沼名	仙 女 ケ 池		
工事箇所	日 高 市 女 影 地 内		
図 面 名	標準断面図（堤体）		
縮 尺	1/50	図面番号	3

埼 玉 県

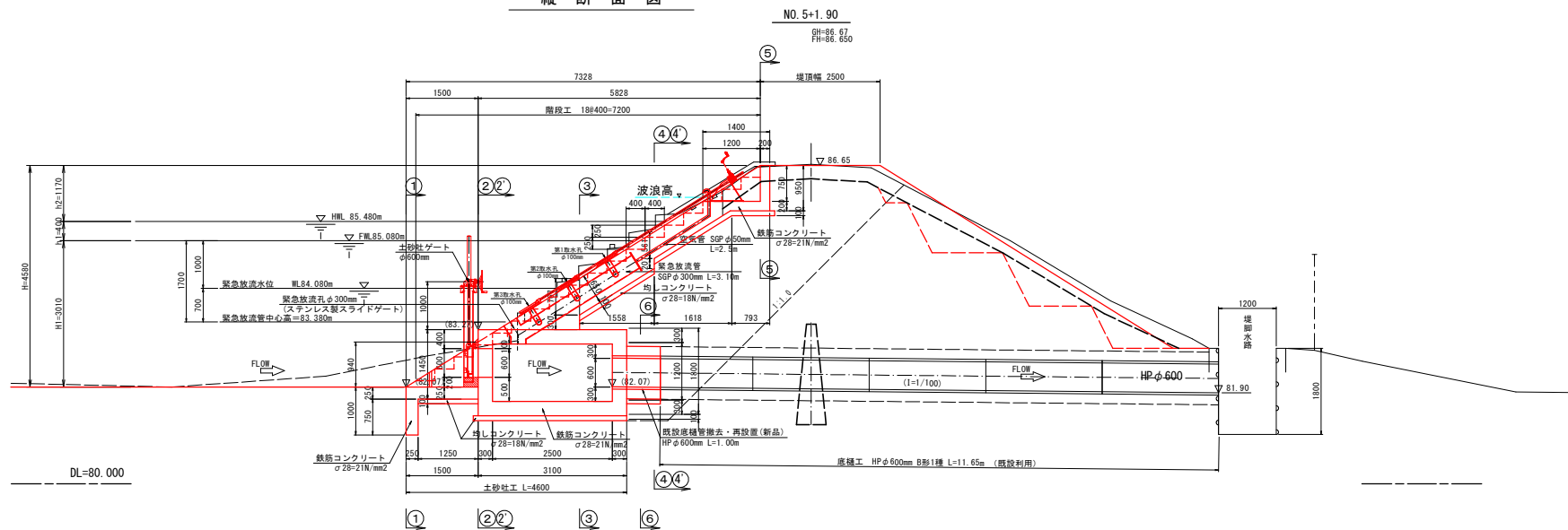
取水工・緊急放流工一般図

S=1:50

平面図 S=1:50



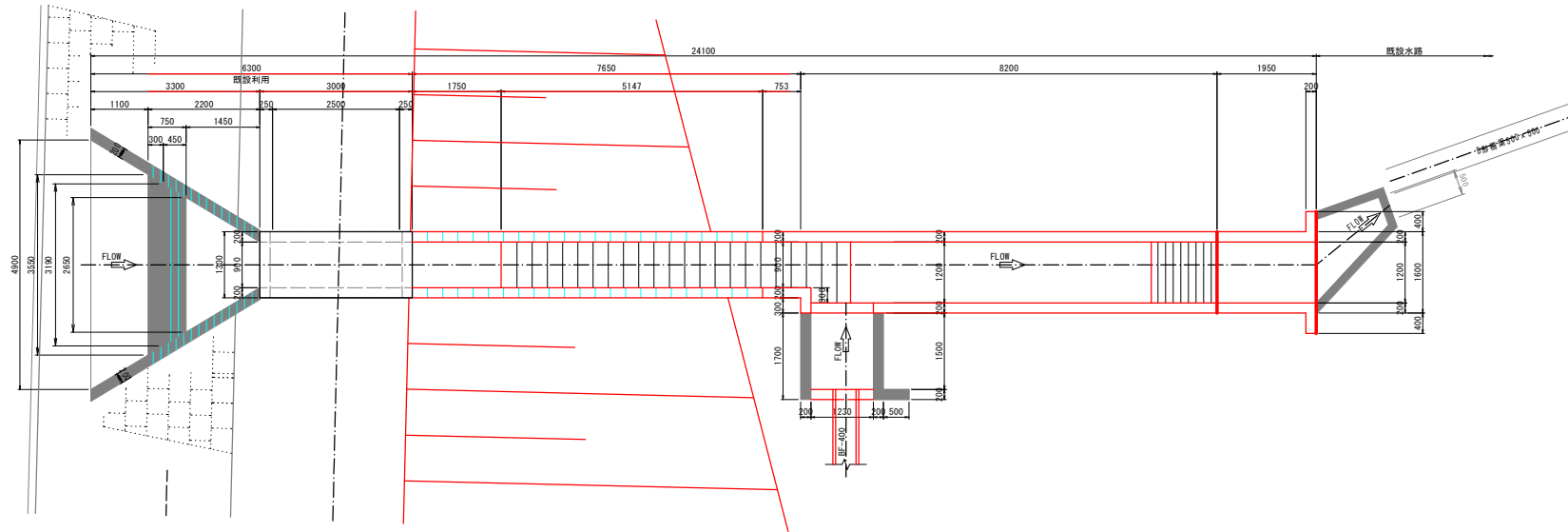
縦断面図



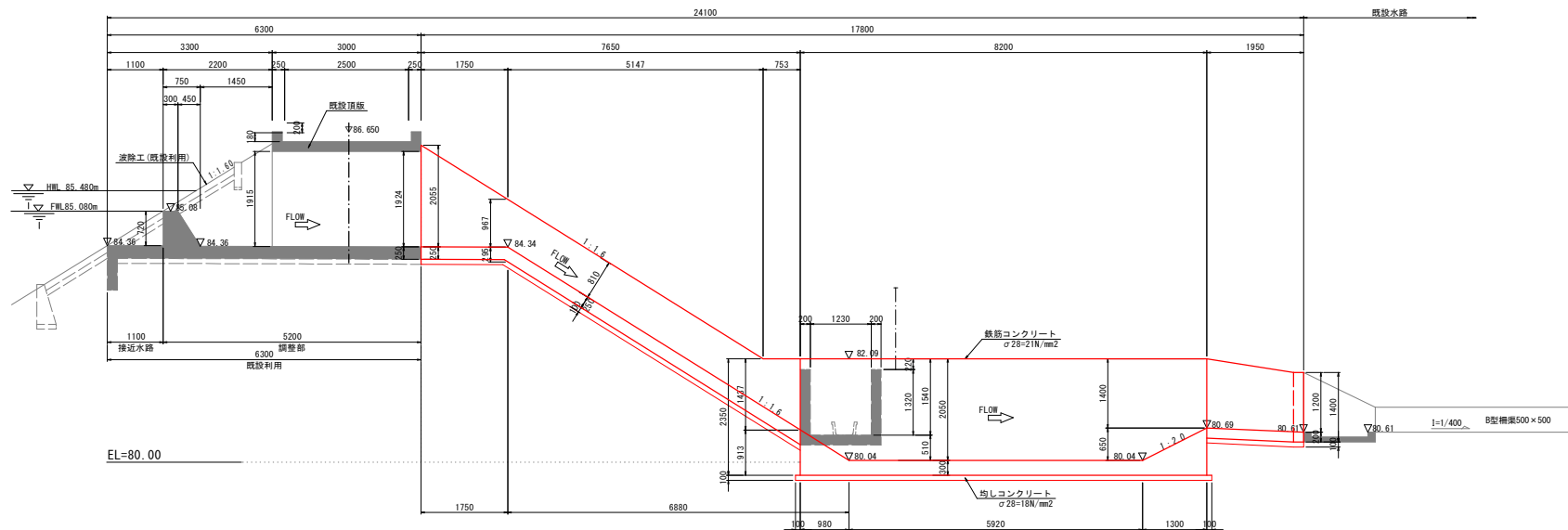
工事名			
池沼名	仙女ヶ池		
工事箇所	日高市女影地内		
図面名	取水工・緊急放流工一般図		
縮尺	1/50	図面番号	4
埼玉県			

S=1 : 50

平面图



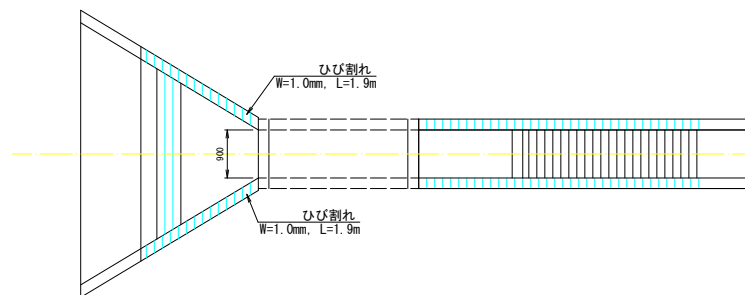
縦断図



工事名			
池沼名	仙女ヶ池		
工事箇所	日高市女影地内		
図面名	洪水吐工一般図		
縮尺	S=1:50	図面番号	5
埼玉県			

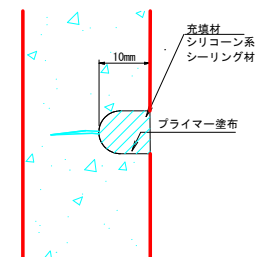
補修工一般図（洪水吐流入部）S=1:50

平面図

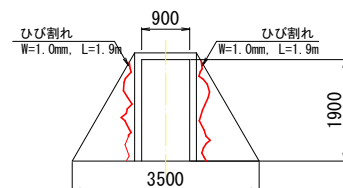


詳細図

(充填工法)
ひび割れ幅 W=1.0mm以上



正面図



工事名			
池沼名	仙 女 ヶ 池		
工事箇所	日 高 市 女 影 地 内		
図 面 名	補修工一般図（洪水吐流入部）		
縮 尺	S=1:100	図面番号	6
埼 玉 県			